

芸閣

～図書館だより～

第8号
2018年12月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

いちようらいふく

一陽来復

「一陽来復」という言葉を知っていますか？ 広辞苑には
①陰がきわまって陽がかえってくること。陰暦11月または
冬至の称

②冬が去り春が来ること。

③悪いことばかりあったのがようやく回復して善い方に向
いてくること。

とあります。

「冬至」のことを「一陽来復」とも言います。今年の冬至
は12月22日。良くないことが続いている人も、冬至が来
たら「さあ、これからは良いことがどんどんやって来る」と
気持ちを切り替えましょう。そういうきっかけを与えてくれ
る日でもあるようです。



おすすめの本

『ラッシュライフ』

伊坂幸太郎 著

この作品は、一見何も関係ない5人の
人物の視点から語られる群像劇型ミステ
リーです。軽快な会話や秀逸な比喻のお
かげで本の苦手な人でもスラスラと読め
ますし、終盤に差しかかってからの怒濤
の展開や、今までの文章に隠されていた
伏線を一気に回収していく様は圧巻と言
えるほどです。よく考えられた緻密な構
成で作られたこの物語は、必ず読めば満
足できるものですので是非読んでみてく
ださい。そして、この作品は最後まで読
んでこそ本当の面白さを見せるものなの
で頑張って最後まで読み切ってください。

2G 樋口



図書館講座ご案内

大松先生と読む『山椒魚』

日時：12月19日(水)
13:00～14:00

場所：桐蔭図書館

内容：『山椒魚』(井伏鱒二著)を
一緒に読んで語りましょう

※興味のある人は図書館まで！

※図書委員は全員参加です(高3は除く)

(裏面に新しく入った本の紹介を載せています)

新しく入った本の紹介

小説



桐蔭高校ラグビー部OBの方が書いた小説です

『桐蔭ラグビー物語』宮本崇著 あざみエージェント
『フーガはユーガ』伊坂幸太郎著 実業之日本社
『愛なき世界』三浦しをん著 中央公論新社
『花だより みをつくし料理帖 特別巻』
高田郁著 角川春樹事務所
『ラメルノエリキサ』渡辺優著 集英社
『ルーシュ ガラスの太陽』菅田哲也著 光文社

社会科学



『2019の論点100』文藝春秋
『移民国家アメリカの歴史』貴堂嘉之著 岩波書店
『イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑』
澤宮優著 原書房
『論理的にプレゼンする技術』
平林純著 SBクリエイティブ
『日本で1日に起きていることを調べてみた』
宇田川勝司著 ベレ出版
『18歳選挙世代は日本を変えるか』
原田曜平著 ポプラ社

自然科学



『科学者の社会的責任』藤垣裕子著 岩波書店
『とんでもない死に方の科学』
コーディー・キャシディーほか著 河出書房新社
『この数学パズル、解けますか?』
アレックス・ベロス著 SBクリエイティブ
『人体の限界』山崎昌広著 SBクリエイティブ
『理科年表2019』国立天文台編 丸善出版
『睡眠こそ最強の解決策である』
マシュー・ウォーカー著 SBクリエイティブ

人生訓



『がんばらなくてもうまくいく考え方』
井上裕之著 PHP研究所
『ゆるいつながり』本田直之著 朝日新聞出版
『逃げ出す勇気』ゆうきゆう著 KADOKAWA

言語



『微妙におかしな日本語』神永暁著 草思社

与謝野晶子 生誕140年

「君死にたまふことなかれ」
「やは肌の あつき血汐にふれも見でさびしからずや 道を説く君」
与謝野晶子の有名な詩です。

1878年12月7日生。この12月で生誕140年を迎えます。
夫、与謝野鉄幹の雑誌「明星」の中心として活躍しました。

図書館に関連の本を展示しています。

『みだれ髪』（俵万智著）
『みだれ髪—チョコレート語訳』（俵万智著）
『源氏物語』（与謝野晶子訳）
『君も雛髻栗われも雛髻栗 与謝野鉄幹・晶子夫妻の生涯』
（渡辺淳一著）
など



お願い

『最高の引き寄せ』（井上裕之 著）と
『鬼談百景』（小野不由美 著）という本
が、貸出の時にこちらのミスで誰に
貸し出したかわからず、返却もされ
ていないままです。お心当たりの方
は図書館まで連絡をお願いします